

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	50	05	区の新たな課題即応事業 (市制100周年記念武蔵溝ノ口駅発車メロディ導入事業)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		平井	64356	

事業の概要										
事業の概要		高津区における川崎市市制100周年記念の取組みの一つとして、区の玄関口である武蔵溝ノ口駅に地元ゆかりの発車メロディを一定期間導入する。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	区の新たな課題即応事業			
		令和6年度		令和6年度						
地域の課題と現状		区民に市制100周年を周知するとともに、区内外への効果的な高津区の魅力発信をすることが求められている。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費					1,040	1,040			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
一般財源						1,040	1,040			

計画 (Plan)	
事業の目的	川崎市制100周年を記念し、高津区における取組みの一つとして、区民のまちへの愛着を育み、区内外への効果的な魅力発信を行う。
今年度の事業の取組内容	市制記念日から武蔵溝ノ口駅に発車メロディを一定期間導入する。また、発車メロディ導入を記念したセレモニーを開催する。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	7月1日 発車メロディお披露目セレモニーを開催した。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1			目標						
				実績						
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		市制記念日に発車メロディお披露目セレモニーを開催したことで、区民に対し市制100周年の周知を行うことが出来た。また、諸報道機関に取り上げられたことにより、区内外へ高津区の魅力発信を行うことが出来た。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	セレモニー当日には数千人の観客が訪れたため、イベントのニーズは高いと考えられる。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	7月1日の市制記念日に合わせ、発車メロディお披露目セレモニーを遅滞なく実施することができた。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	必要に応じて関係各所と調整し、発車メロディ音源の活用について検討していく。		

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	市制100周年記念の取組みの一つとして実施したため、セレモニーとしては単年限りとなるが、発車メロディとして制作された音源の今後の活用について、関係者及び庁内で検討していく必要があります。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	50	05	区の新たな課題即応事業 (二子塚公園施設撤去事業)		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			676000		道路公園センター公園整備担当		松尾	74556

事業の概要										
事業の概要		二子塚公園内にある地元町内会所有のトロリーバスを撤去するのに先立ち、撤去作業の支障となる上屋等を公園施設を撤去するもの。								
実施期間		事業開始年度 令和6年度		事業終了年度 令和6年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業		
地域の課題と現状		トロリーバス及び周辺の施設が老朽化しており、市民が安全で安心に公園を利用する妨げとなっていることから、早急な施設撤去が必要となっている。								
予決算 (単位:千円)	年度		R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費						1,408	1,408		
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
一般財源						1,408	1,408			

計画 (Plan)	
事業の目的	老朽化した公園施設を撤去し、市民が安全で安心に公園を利用できるようにするもの。
今年度の事業の取組内容	二子塚公園内の老朽化した施設の撤去(上屋、公園トイレ)

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	二子塚公園内の老朽化した施設を撤去した。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1			目標						
				実績						
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		老朽化した公園施設を撤去した後に、地域から公園全体の改修を求められていることから、地域町内会や公園愛護会と協議・調整しながら公園改修に向けて取り組みを進める必要がある。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	市民の安全で安心な公園利用のために必要なものであった。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	老朽化した公園施設を撤去し、今後の公園全体改修に繋げることができた。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	単年度事業のため。		

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	I．現状のまま継続 II．見直し・改善のうえ継続 III．事業終了	III	老朽化した公園施設の撤去は完了した。しかし、二子塚公園については、市民がより安全で安心に公園を利用できるように、今後公園の全体改修工事を行い、市民サービスの向上に繋げる必要がある。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小	区の新たな課題即応事業 (市制100周年久地円筒分水回遊性向上事業)			
58	05	25	26	50	05				
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			676000		道路公園センター土木整備担当			林	74550

事業の概要

事業の概要		久地円筒分水川崎堀へ常設の人道橋を設置し、広場内の連続性・回遊性を確保するとともに、「まちなかみどりスポット」であるニヶ領用水久地円筒分水で緑化フェア開催日と同日予定の「円筒分水スプリングフェスタ」を盛り上げ、緑化フェアと連動した環境整備を進める。								
実施期間		事業開始年度 令和6年度		事業終了年度 令和6年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業		
地域の課題と現状		例年「円筒分水スプリングフェスタ」において、仮設人道橋の設置を行っていたが、令和6年8月、円筒分水スプリングフェスタ実行委員会の構成団体でもある地元町会から、広場内の連続性・回遊性確保のため、川崎堀への常設橋架橋について要望書の提出があった。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費					2,453	2,453			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
一般財源					2,453	2,453				

計画 (Plan)	
事業の目的	広場内の連続性・回遊性の確保及び全国都市緑化かわさきフェア及び円筒分水スプリングフェスタの機運上昇。
今年度の事業の取組内容	久地円筒分水川崎堀に人道橋の設置工事を行う。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	久地円筒分水川崎堀に人道橋の設置を行った。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1				目標					
					実績					
	2				目標					
					実績					
	3				目標					
					実績					
	4				目標					
					実績					

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		久地円筒分水は、広場内の連続性・回遊性を確保することが求められている。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	広場内の連続性・回遊性を確保することで、円筒分水自体の魅力をさらに向上させることができ、また、毎年かかっていた仮設人道橋の設置費用が不要となる。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	広場内の連続性・回遊性を確保できたとともに、緑化フェア、スプリングフェスタの機運上昇に資することができた。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	単年度事業のため。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	人道橋の桁部分を本設置した。今後高欄部分は単管柵による仮設に留まっているため、本設置し、回遊通路との接続部をインターロッキングブロックで摺り付け、十分に景観に配慮した形で久地円筒分水広場における人道橋を完成させる必要がある。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	50	05	区の新たな課題即応事業 (区役所等ユニバーサル対応環境整備事業)		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			671600		高津区役所まちづくり推進部総務課		寺林	64112

事業の概要										
事業の概要			介助の必要な障害者、高齢者がオムツ交換をする際に使用する介助用大型ベッドを購入し、橘出張所庁舎内に設置するものです。							
実施期間			事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業	
			令和6年度		令和6年度					
地域の課題と現状			神奈川県「当事者目線の障がい福祉推進条例」の理念を踏まえた取組として、県全体で介助用大型ベッドの設置を広く推進しており、本市では本庁舎等で設置が進められていることから、高津区においても早期に購入・設置を行う必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度		R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費						96	96		
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
一般財源						96	96			

計画 (Plan)	
事業の目的	神奈川県「当該条例」の理念を踏まえ、区役所等来所者の利便性向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	介助用大型ベッドを購入し、橘出張所庁舎内に設置します。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	令和7年3月4日購入（受入れ）、同日橘出張所に配置									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	介助用大型ベッドの配置数	目標			1		台	
				実績			1			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		障害者差別解消法の改正に伴い合理的配慮の提供が義務化されるなど、障害者等に対する福祉ニーズが高まっており、区役所等来所者の利便性の向上が求められています。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	令和6年度、神奈川県から改めて介助用大型ベッドの設置が呼びかけられるなど、ニーズは引き続き高いものと考えられます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	これまで設置の無かった施設においての導入となったことから、成果が上がったものと考えられます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	橘出張所スペースの都合上、追加の設置は行わないため、事務改善の可能性は無いものと考えられます。		

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	Ⅰ．現状のまま継続 Ⅱ．見直し・改善のうえ継続 Ⅲ．事業終了	Ⅲ	引き続き障害者等の利便性向上の取組を推進していく必要はあるものの、区役所庁舎等における介助用大型ベッドの設置は一定程度進んだことから、区の新たな課題即応事業としての当該ベッドの整備は終了します。